

令和 4 年 2 月 1 日
仙台河川国道事務所名取川水系名取川、広瀬川及び笹川
洪水浸水想定区域の変更について

国土交通省東北地方整備局が平成28年6月30日及び平成29年6月30日に定め、公表している名取川水系名取川、広瀬川及び笹川の洪水浸水想定区域について、水防法第14条第4項に基づき、洪水浸水想定区域を変更・公表するとともに、関係市町へ通知します。

洪水浸水想定区域の指定の変更に係る公表資料（別紙1）は、下記の場所及び仙台河川国道事務所のホームページで閲覧することができます。

1. ホームページ

https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/kasen_kaigan/nahi/sinsuisoutei_top.html

2. 閲覧場所（別紙2）

国土交通省 東北地方整備局 河川部 水災害予報センター

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第一課

（新型コロナウイルス感染対策防止のため、閲覧を希望される場合は事前にご連絡
いただくようお願いいたします。）

※洪水浸水想定区域とは

水防法第14条第1項の規定により、対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。（津波の影響を考慮したものではございません。）

《発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会》

問合せ先

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所

住所：仙台市太白区あすと長町四丁目1-60

電話：022-248-4131（代表）

副所長（河川担当）

ひらだて

平 館

すとう

調査第一課長

須藤

じゅんいち

淳 一

のぶゆき

誠 元

（内線 204）

（内線 351）

別紙 1

■洪水浸水想定区域の指定の変更に係る見直し理由

○名取川水系の浸水想定区域図は、東北地方太平洋沖地震（H23. 3. 11）発生直後の地盤データを元にシミュレーションした結果で公表していました。

○その後、復旧・復興事業が進められ、令和2年度（復興・創生期間の最終年）に関連事業も完成を迎えたことから、令和2年に航空レーザ測量により地形測量を実施した結果、地震発生直後に比べて、地形データに相違が見られました。

○これらのことから、最新の地形データを用いてシミュレーションした結果により、浸水想定区域について見直しの検討を行い今回公表するものです。

【参考】洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）より抜粋

（8）洪水浸水想定区域図の変更について

③土地利用の大規模な変更、大規模構造物の建設、連続盛土の改変や地形の大規模な改変等により、洪水浸水想定区域の大幅な変更が見込まれる場合。

洪水浸水想定区域（想定最大規模）

における主な変更

○浸水面積
約 4km² 増

○浸水区域内人口（人）
約 7千人 減

○浸水区域内世帯数（世帯）
約 3千世帯 減

※人口および世帯数は、「平成27年度 国勢調査 地域メッシュ統計」から算出



前回公表資料（平成28年6月30日）



今回公表資料（令和4年2月1日）

■洪水浸水想定区域の指定の変更に係る公表資料

○名取川水系 名取川・広瀬川・笹川

- ・洪水浸水想定区域図（想定最大規模）【資料 1】
- ・洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）【資料 2】
- ・洪水浸水想定区域図（計画規模）【資料 3】
- ・洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域 [氾濫流・河岸侵食]）
【資料 4-1, 2】

○名取川水系 名取川

- ・洪水浸水想定区域図（想定最大規模）
- ・洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）
- ・洪水浸水想定区域図（計画規模）

○名取川水系 広瀬川

- ・洪水浸水想定区域図（想定最大規模）
- ・洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）
- ・洪水浸水想定区域図（計画規模）

○名取川水系 笹川

- ・洪水浸水想定区域図（想定最大規模）
- ・洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）
- ・洪水浸水想定区域図（計画規模）

【用語の定義】

○想定最大規模

「水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨」

- ・指定の前提となる降雨 名取川流域の 2 日間総雨量 607mm
広瀬川流域の 2 日間総雨量 679mm

○計画規模

「洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1/150（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/150（0.67%）の降雨」

- ・指定の前提となる降雨 名取川流域の 2 日間総雨量 362.8mm
広瀬川流域の 2 日間総雨量 388.4mm

■ 閲覧場所・連絡先

【閲覧場所①】

国土交通省 東北地方整備局 河川部 水災害予報センター

所在地：宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟12階

【連絡先①】

国土交通省 東北地方整備局 河川部

水災害予報センター 流域水害対策係

電話：022-225-2171（代）

【閲覧場所②】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第一課

所在地：宮城県仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号

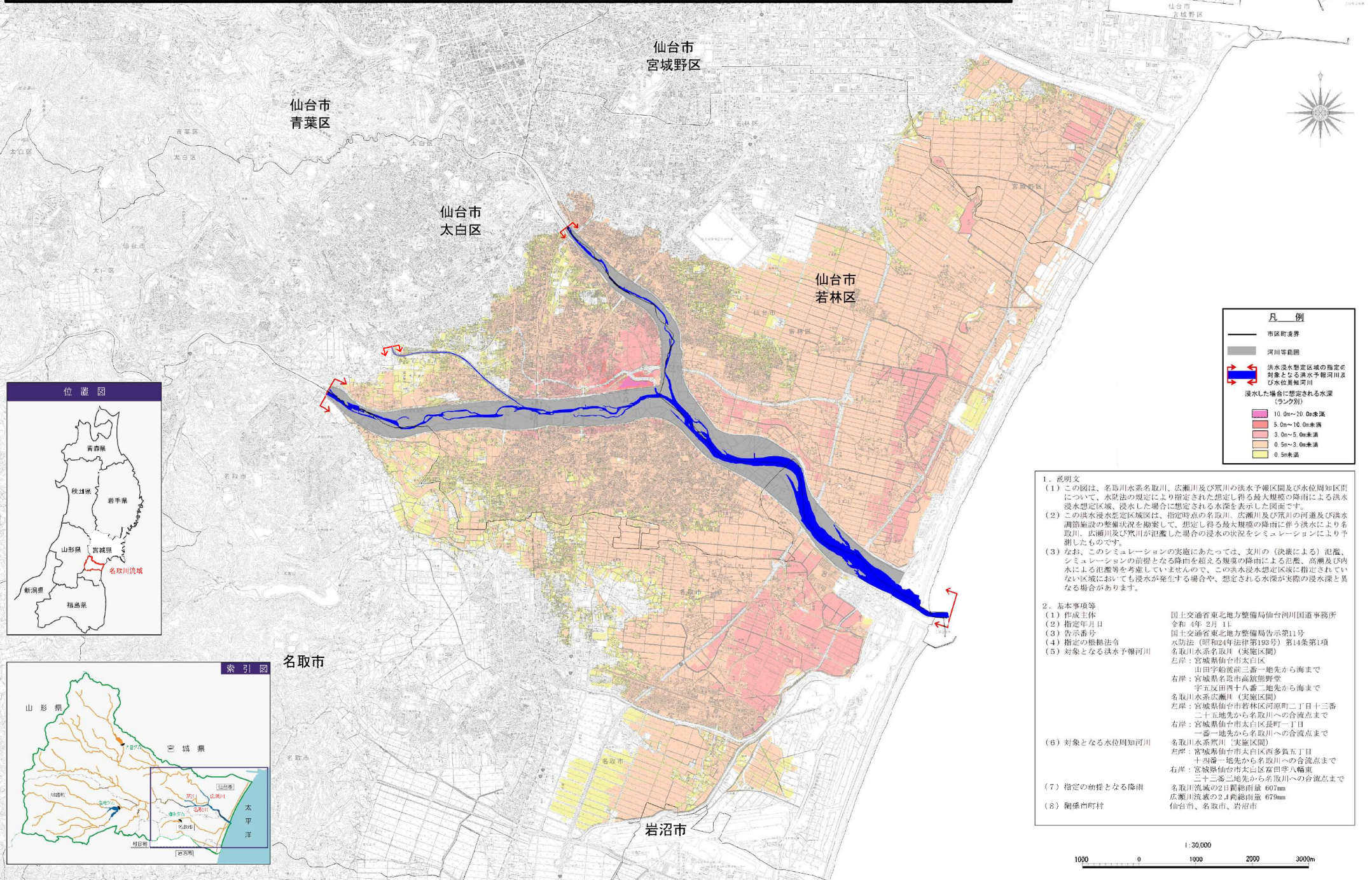
【連絡先②】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

調査第一課 水防企画係

電話：022-248-4131（代）

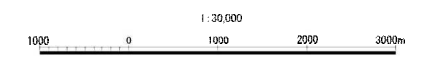
名取川水系名取川、広瀬川及び笹川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



凡例

- 市区町界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の對象となる洪水予報河川及び水位周知河川
- 洪水した場合に想定される水深（ランク別）
 - 10.0m~20.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 0.5m~3.0m未満
 - 0.5m未満

1. 説明文
 - (1) この図は、名取川水系名取川、広瀬川及び笹川の洪水予報区間及び水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定される最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の名取川、広瀬川及び笹川の河道及び洪水調節施設の状態を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により名取川、広瀬川及び笹川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
 - (1) 作成主体 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所
 - (2) 指定年月日 令和 4年 2月 1日
 - (3) 告示番号 国土交通省東北地方整備局告示第11号
 - (4) 告示の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - (5) 対象となる洪水予報河川 名取川水系名取川（実施区間）
左岸：宮城県仙台市太白区
山田字船渡前二番一地先から海まで
右岸：宮城県名取市高舘熊野野
字及田四十八番二地先から海まで
名取川水系広瀬川（実施区間）
左岸：宮城県仙台市若林区河原町二丁目十三番
二十五地先から名取川への合流点まで
右岸：宮城県仙台市太白区長町一丁目
一番一地先から名取川への合流点まで
名取川水系笹川（実施区間）
左岸：宮城県仙台市太白区西多賀五丁目
十四番一地先から名取川への合流点まで
右岸：宮城県仙台市太白区宮野八幡東
三十三番三地先から名取川への合流点まで
- (7) 指定の前提となる降雨 名取川流域の2日間総雨量 607mm
広瀬川流域の2日間総雨量 679mm
- (8) 関係市町村 仙台市、名取市、岩沼市



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。」
 「測量法に基づき国土地理院長承認（複製）R 3JH 281」
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」